



去勢若齡肥育牛生産費統計調査票

「農業簿記 11（ソリマチ）」を活用した調査票

記入マニュアル

農林水産省

大臣官房統計部
経営・構造統計課

農林水産省

目 次

はじめに

「農業簿記」での初期設定・・・・・・・・・・ 1

部門や補助科目の設定、補助科目一覧表・・・・・・・・ 2、3

調査票の記入

1：経営の概況・・・・・・・・・・ 4、5

2：調査対象畜の取引状況・・・・・・・・ 4～7

3：調査対象畜の生産に使用した資材等・・・・・・・・ 8～19

4：物件税及び公課諸負担・・・・・・・・ 20、21

5：消費税・・・・・・・・ 22

6：借入金（買掛未払金を含む）及び支払利子・・・・・・・・ 22、23

7：出荷に要した経費・・・・・・・・ 24、25

8：建物及び構築物（土地改良施設を含む）

の所有状況・・・・・・・・ 26、27

9：自動車（自動二輪・三輪を含む）の所有状況・・・・・・・・ 28、29

10：農業機械（生産管理機器を含む）の所有状況・・・・・・・・ 30、31

11：農具の購入費等・・・・・・・・ 32、33

12：作業別労働時間・・・・・・・・ 34、35

13：地代（所有地及び借入地）・・・・・・・・ 36、37

＜記入上の注意事項＞

1. 調査項目欄については、右詰で記入してください。
2. 記入に際しては、黒の鉛筆またはシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。
3. 回答もれや回答誤りがないか、最後にもう一度ご確認ください。
4. 「農業簿記」で、把握できない項目については、「記入の仕方」を参考にして、調査票に直接ご記入ください。
5. また、記入内容について、職員や専門調査員から照会等させていただく場合がございますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

※ 数字は枠からはみ出さないよう、楷書でていねいに記入してください。

※ 調査項目の具体的な説明については「調査票の記入の仕方」を参照してください。

はじめに

「農業簿記11」での初期設定

農業簿記のデータを用いて、去勢若齢肥育牛生産費の調査票を記入する場合、初期設定にある「肉牛部門」に、記帳しておく必要があります。

なお、当該肥育牛のみ生産している場合は部門の設定は必要ありません。

（取引事項が発生した時点で、設定することも可能です）

部門の設定は、一番最初の起動時に、案内に沿って進めていくことで、設定されますが、去勢若齢肥育牛部門は後から設定します。

- 1 メニュー画面
- 2 初期を選択
- 3 基本を選択
- 4 部門設定を選択・・・部門階層は2もしくは3階層にします。
（詳細は、農業簿記「導入マニュアル」を参照してください。）

また、去勢若齢肥育牛生産費用の調査項目を設定する場合は、補助科目機能を利用し、勘定科目の内訳を作成します。

例えば、飼料費の内訳として、**大麦**、**とうもろこし**、**配合飼料**等を設定する必要があります。（3頁に一覧表があります。）

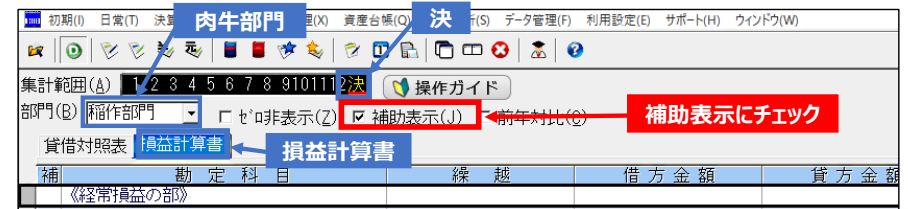
以下の手順にて、去勢若齢肥育牛生産費用の調査項目を設定してください。

- 1 メニュー画面
- 2 初期を選択
- 3 基本を選択
- 4 勘定科目設定を選択
- 5 補助科目設定のボタンが表示されるので、クリックして、
分類（売上、経費、負債等）別に、設定します。

農業簿記 11（ソリマチ）の参照の仕方

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表⇒集計範囲：決算⇒部門：肉牛部門⇒表示タイプ「補助表示」にチェックを入れて、損益計算書を選択し印刷します。



ここでは、印刷した試算表の「残高」を見て、調査票に記入していくことを前提とします。また、わかりやすいよう補助科目は**赤字**にしています。

（以下、同様です。なお、実際に印刷されたものは黒字です。）

肉牛部門の設定

複数の品目を生産・販売している場合は、「肉牛部門」を事前に設定します。以下の図はソリマチ「農業簿記11」の起動画面「ダイレクトメニュー」です。
 ここから、横【初期】⇒縦【基本】⇒メニュー【部門設定】と進みます。

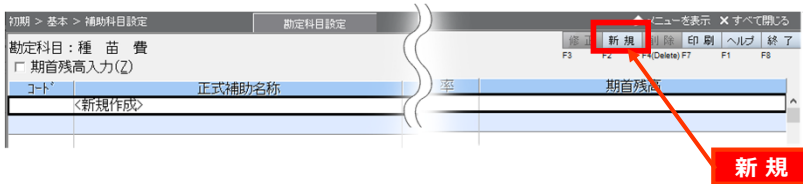


補助科目の設定

ダイレクトメニューで【初期】⇒【基本】⇒【勘定科目設定】と進みます。
 勘定科目の、上部タブメニューの【補助】を選択



「補助科目設定」画面から【新規】⇒入力フォームが表示されるので【正式名称】を記入し【設定】ボタンを押すと登録されます。



去勢若齢肥育牛生産費における補助科目設定一覧表

損益計算書（勘定科目）⇒《経常損益の部》

【売上高】売上高			
売上高	牛馬	敷料費	稲わら
	きゅう肥（販売用）		おがくず
			麦わら
			乾牧草
			その他
【生産原価】		【販売費一般管理費】	
飼料費	穀類	支払地代	物件税
	大麦		固定資産税・建物
	その他の麦		固定資産税・農機具
	とうもろこし		都市計画税（土地以外）
	飼料用米	動力光熱費	不動産取得税（土地以外）
	その他の穀類		自動車取得税
	ぬか・ふすま類		共同施設税
	ふすま		軽・自動車税
	その他のぬか・ふすま類	診療衛生費	自動車重量税
	植物性かす類		公課負担金
	大豆油かす		自賠責保険
	ピートナルブ		集落協議会費
飼料費	その他の植物性かす類	修繕費	農業協同組合費
			肉用牛組合費
			農事実行組合費
			家畜共済組合賦課金
飼料費	配合飼料	賃借料	共済掛金
	T M R		疾病共済掛金
	牛乳脱脂乳		損害保険料
	いも類及び野菜類		自動車保険料
飼料費	わら類	その他の畜材	建物保険料
	稲わら		農業機械保険料
	その他のわら類		
飼料費	生牧草	【営業外損益の部】	【負債の部】
	乾牧草		流動負債
	ヘイキューブ		買掛金
	その他の乾牧草		短期借入金
	サイレージ	固定負債	長期借入金
	いね科		△△資金（畜舎用）
	稲発酵粗飼料		××資金（ローダー用）
	その他のサイレージ		○○資金（トラクター）
上記以外の購入飼料			
その他の畜材	消石灰		
	デントコーンの種子		
	ラッピングフィルム		
	ハエ取り紙		

※ 上記以外にも普段使用しているものがあれば、随時追加しておいてください。

【1】経営の概況

- 1 経営耕地
- 2 世帯員数と農業就業者数等
- 3 認定農業者の状況

調査票 P3

「経営の概況」1～3 項

左記 3 項目に関しては、「農業簿記」では対応しておりません。
去勢若齢肥育牛生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【2】調査対象畜の取引状況

調査票 P4

1 農家団体コード（牛トレサ関係）

農家団体コード 1	農家団体コード 2	農家団体コード 3
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	0 9 8 7 6 5 4 3 2 1	

2 調査対象畜の購入・売却状況

個体識別番号 (10ケタの耳標番号)	名 称 (記入は任意)	異動 月	購入・売却 (該当に○)	取引金額 (円) (購入額、売却額)	売却時 生体重 (kg)
		月	購入 売却	万 千 百 十 円 十 円	
(購入の例)			購入 売却		
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		1	○ 購入	1 0 0 0 0 0 0 0	
(売却の例)			購入 売却		
2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		2	購入 ○ 売却	4 9 0 0 0 0 0 0	7 0 0
			購入 売却		
			購入 売却		
			購入 売却		
			購入 売却		

「調査対象畜の取引」農家団体コード

「農業簿記 1 1」では、対応しておりません。以下、全項目で同様です。

「調査対象畜の個体識別番号」

「農業簿記 1 1」では、対応しておりません。以下、全項目で同様です。

調査対象畜の購入・売却状況

牛トレサデータに基づき、年内に異動（購入・売却）のあった牛について、
「個体識別番号」、「移動月」、「購入・売却（○）」を印字してありますので、
当該牛の取引金額（購入額、売却額）を記入してください。
なお、売却時の生体重が不明の場合は、記入方法を担当にご相談ください。

● (購入の場合)

当該牛の購入額を「取引金額」欄に記入してください。

● (売却の場合)

当該牛の売却額を「取引金額」欄に、売却時の生体重を「売却時生体重」欄に
記入してください。

【2】調査対象畜の取引状況（続き）

調査票 P5

3 きゅう肥の利用状況

総搬出量 の割合 (%)	販売用	自家利用	廃棄
1 0 0	2 0	7 0	1 0

販売金額（円）
万 千 百 十 5 0 0 0 0

物々交換した場合				
品目名 (具体的に記入)	数量	単位		
稲わら	2 0 0	kg		
麦わら	1 0 0	kg		
玄米	6 0	kg		
ジュース	1 0 0 0	円		

きゅう肥の総搬出量割合

「農業簿記」では対応しておりません。

去勢若齢肥育牛生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

きゅう肥の利用状況（販売）

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・肉牛部門・損益計算書を印刷します。

この事例では、売上高の補助科目として「きゅう肥」を設定しました。

損益計算書

肉牛部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
[売上高]					
きゅう肥（販売用）				50,000	

物々交換

「農業簿記」では対応しておりません。

去勢若齢肥育牛生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等

調査票 P5

1 購入飼料

区 分		数 量	単位	金額 (円)	調査対象畜 負担割合
穀 類	大 麦	1 0 0 0	kg	4 5 0 0 0	1 0 0
	そ の 他 の 麦				
	とうもろこし	8 3 0 0	kg	3 5 4 6 0 0	8 0
	大 豆				
	飼 料 用 米				
	そ の 他 の 穀 類				
ぬ か ・ ふ す ま 類	ふ す ま				
	米 ・ 麦 ぬ か				
	そ の 他 の ぬ か ・ ふ す ま 類				
植 物 性 か す 類	大 豆 油 か す				
	ビートパルプ	1 6 7	20kg 袋	6 4 3 8 0 0	1 0 0
	そ の 他 の 植 物 性 か す 類				
配 合 飼 料		7 0	t	4 1 4 1 0 0 0	8 0
T M R (糠粕料、濃厚飼料、ミネラル等の混合飼料)		3 5	t	7 3 2 3 0 0	8 0
牛 乳 脱 脂 乳					
い も 類 及 び 野 菜 類					
わ ら 類	稲 わ ら				
	その他のわら類 (麦わら等)				
生 牧 草					
乾 牧 草	ヘイキューブ	3 6 0 0	kg	2 1 1 9 0 0	8 0
	その他の乾牧草				
サイレージ	い ね 科 (糠発酵粗飼料を除く。)	8	t	9 1 4 0 0	8 0
	稲発酵粗飼料				
	そ の 他 の サイレージ				
上 記 以 外 の 購 入 飼 料				8 0 0 0 0	1 0 0

飼料の数量及び負担割合

「農業簿記」では対応しておりません。

去勢若齢肥育牛生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

購入飼料

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・肉牛部門・損益計算書を印刷します。

この事例では、【生産原価】飼料費の補助科目として「大麦」「とうもろこし」等を設定しました。

損益計算書

肉牛部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
【生産原価】					
飼 料 費				6,300,000	
大麦				45,000	
とうもろこし				354,600	
ビートパルプ				643,800	
配合飼料				4,141,000	
T M R				732,300	
ヘイキューブ				211,900	
サイレージ いね科 (稲発酵粗飼料を除く)				91,400	
上記以外の購入飼料				80,000	

【3】 調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

調査票 P6

2 自給飼料

(1) 家畜に給与する目的で栽培した作物

区 分	自給飼料の例示	生 牧 草 (生の状態で給与するもの)			乾 牧 草 (乾燥させて給与するもの)			サイレージ (発酵させて給与するもの)			左記の牧草の生産状況		
		数 量	単位	調査対象畜 負担割合	数 量	単位	調査対象畜 負担割合	数 量	単位	調査対象畜 負担割合	作 付 面 積	収 穫 量	単位
い ね 科	デントコーン							110	t	100	500	252	t
	イタリアン ライグラス	690	kg	80	980	kg	80	38	200kg ロール	80	70	25000	kg
	ソルゴー												
	稲発酵粗飼料 WCS：ホールクローブサイレージ							3600	kg	80	30	6000	kg
ま ぜ ま き	その他の オーチャードグラス、チモシー、 ライ麦、えん麦等のいね科の牧草												
	いね科が主 オーチャードグラス、チモシー等のいね科 牧草がメインのまぜまき牧草				40	t	60	120	t	60	1000	500	t
	その他の アルファルファ等のまめ科牧草がメイン、 又はいね科とまめ科の折半の牧草												
	その他の牧草 アルファルファ、クローバー等のまめ科の 牧草、飼料かぶ、家畜ビート等												
穀 類 及 び 野 生 草	とうもろこし、小麦、大豆、飼料用米等の 穀類												
	かんしよ、いもづる等												
	拓荒地等の耕地以外の土地から収穫し、生 のまま給与するもの												
	拓荒地等の耕地以外の土地から収穫し、乾 燥させて給与するもの												
野 乾 草	拓荒地等の耕地以外の土地から収穫し、乾 燥させて給与するもの												
	放牧場における放牧時間	6000	時間	100							500		

飼料の数量及び負担割合

本ページ（自給飼料）に関する数値

（数量、時間、作付面積、収穫量、放牧時間等）は

「農業簿記」では対応しておりません。

去勢若齢肥育牛生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」

を参照しご記入願います。

(2) 家畜に給与する目的以外で栽培した作物

作物名 (具体的に記入)	数 量	単位	調査対象畜 負担割合
大麦	1000	kg	100
稲わら	800	kg	50

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

調査票 P7

3 敷料費

(1) 購入

区 分	金 額 (円)	調査対象畜 負担割合
計	305000	80%
稲 わ ら		
お が く ず		
麦 わ ら		
乾 牧 草		
そ の 他		

物々交換した場合			
品目名 (具体的に記入)	数 量	単 位	
きゅう肥	3	t	
ジュース	1000	円	

(2) 自給

資材名（具体的に記入）	使用数量	単 位	調査対象畜 負担割合
乾牧草	2500	kg	80%
稲わら	700	kg	80%

敷料費（購入）

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・肉牛部門・損益計算書を印刷します。

この事例では、敷料費の補助科目として「稲わら」「おがくず」等を設定しました。

損益計算書		肉牛部門				
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)	
〔経常損益の部〕						
【生産原価】						
敷料費				305,000		
稲わら						
おがくず						
麦わら						
乾燥草						
その他						

敷料（物々交換、自給）

「農業簿記」では対応しておりません。

去勢若齢肥育牛生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【3】 調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

調査票 P7

4 光熱動力費

(1) 購入

区 分	金 額 (円)				負 担 割 合 (%)	
					調 査 対 象 畜	自 給 牧 草
計		万	千	百	十	
重 油						
軽 油	2	3	0	0	0	0
灯 油	1	2	0	0	0	0
ガソリン	5	0	0	0	0	0
水 道 料	1	7	0	0	0	0
電 力 料	7	0	0	0	0	0
そ の 他						

(2) 自給

資材名（具体的に記入）	使用数量		負 担 割 合 (%)		
	単位	調 査 対 象 畜	自 給 牧 草		
薪	kg	1	0	0	

光熱動力費（購入）

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・肉牛部門・損益計算書を参照します。

なお、動力光熱費について、事前に部門別に仕分ける事が困難な場合は、共通部門として入力しておき、「全部門」を選択して、計算させます。

損益計算書

肉牛部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
【生産原価】					
動力光熱費				1,008,259	
重油					
軽油				230,000	
灯油				120,000	
ガソリン				50,000	
水道料				170,000	
電力料				700,000	
その他					

光熱動力費（自給）

「農業簿記」では対応しておりません。

去勢若齢肥育牛生産費統計調査票 「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

調査票 P8

5 獣医師料及び医薬品費

区 分	金 額 (円)	調査対象畜 負担割合	獣医師料及び医薬品費の例示
計	45,320.0	80	
獣医師料			獣医師に支払った診療代 (投薬、注射等の代金を含む。)
疾病共済掛金	★		家畜共済掛金のうち「疾病傷害共済掛金」(病傷部 分)
医薬品費			牛に直接使用した医薬品及び衛生薬品
その他医療費等			上記以外の医療・衛生費、倉庫の消毒剤等

6 賃借料及び料金

区 分	金 額 (円)	負担割合 (%)		賃借料及び料金の例示
		調 査 対象畜	自給牧草	
計				
共同負担金				共同利用畜舎など共同施設の負担金、利用 料金
農機具借料	36,000	50	30	農機具のリース代
そ の 他	118,000	90		削蹄料、疾病検査料、建物の賃借料、 コントラクター料金 等

獣医師料及び医薬品費（診療衛生費）

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・肉牛部門・損益計算書を参照します。

この事例では、診療衛生費の補助科目として「獣医師料」「医薬品費」等を設定しています。

損益計算書

肉牛部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
【生産原価】					
診療衛生費				353,200	
獣医師料					
医薬品費					
その他医療費					

損益計算書

全部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
【販売費一般管理費】					
共済 掛金					
疾病共済掛金				100,000	

★「疾病共済掛金」は損益計算書—【販売費一般管理費】⇒（共済 掛金）の項目に表示されます。計を記入する場合は「診療衛生費」と「疾病共済金」の合計値を記入してください。

賃借料及び料金

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・肉牛部門・損益計算書を参照します。

この事例では、賃借料の補助科目として「共同負担金」「農機具借料」等を設定しています。

損益計算書

肉牛部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
【生産原価】					
賃借料					
共同負担金					
農機具借料				36,000	
その他				118,000	

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

調査票 P8

7 草地費（草地開発事業の負担金、土地改良事業の負担金）

草地開発事業の負担金（円）		土地改良事業の負担金（円）	
草地造成事業	草地整備事業	事業番号（①）	事業番号（ ）
80000		23000	

8 その他の資材等

資 材 名 等	数 量	単位	金 額（円）		負担割合（％）	
			調 査 対 象 畜	自 給 牧 草	調 査 対 象 畜	自 給 牧 草
計						
購入						
ハエ取り紙			3000	100		
デントコーンの種子			40000	100		
消石灰			120000	20	50	
ラッピングフィルム			80000	100		
自給						
きゅう肥	8	t			100	

草地費（賃借料）

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・肉牛部門・損益計算書を参照します。

この事例では、賃借料の補助科目として「草地開発事業の負担金」「土地改良事業の負担金」等を設定しています。

損益計算書		肉牛部門			
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比（％）
[経常損益の部]					
【生産原価】					
賃借料					
草地開発事業の負担金 （草地造成事業）				80,000	
土地改良事業の負担金				23,000	
その他					
支払 地代					
その他					

その他の資材等（購入）

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・肉牛部門・損益計算書を参照します。

この事例では、諸材料費の補助科目として「ハエ取り紙」「デントコーンの種子」等を設定しています。

損益計算書		全部門			
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比（％）
[経常損益の部]					
【生産原価】					
諸材料費				243,000	
ハエ取り紙				3,000	
デントコーンの種子				40,000	
消石灰				120,000	
ラッピングフィルム				80,000	

その他の資材等（自給）

「農業簿記」では対応しておりません。

去勢若齢肥育牛生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【4】 物件税及び公課諸負担

調査票 P9

1 物件税

区 分		金 額 (円)	負担割合 (%)	
			調 査 対 象 畜	自 給 牧 草
計		万 千 百 十		
固 定 資 産 税	建 物	1 4 0 0 0 0	6 0	1 0
	農 機 具	3 0 0 0 0	4 0	3 0
都 市 計 画 税 (土 地 以 外)				
不 動 産 取 得 税 (土 地 以 外)				
自 動 車 取 得 税		1 5 0 0 0	4 0	3 0
共 同 施 設 税				

2 公課所負担

区 分		金 額 (円)	負担割合 (%)		公課諸負担の例示
			調 査 対 象 畜	自 給 牧 草	
計		万 千 百 十			
集 落 協 議 会 費		7 5 0 0	9 0		地域振落等の会費
農 業 協 同 組 合 費		1 1 0 0 0 0	9 0		農業協同組合の組合費、賦課金
肉 用 牛 組 合 費		9 0 0 0 0	1 0 0		
農 事 実 行 組 合 費		1 0 0 0 0	9 0		実行組合、農家組合等の会費、賦課金
家畜共済組合賦課金		1 2 5 0 0 0	8 0		

物件税及び公課諸負担

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。

この事例では、物件税の補助科目として「都市計画税」「共同施設税」等を公課所負担の補助科目を「集落協議会費」「肉用牛組合費」等を設定しています。

損益計算書

全部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[経常損益の部]					
【販売費一般管理費】					
租税 公課					
固定資産税・建物				140,000	
固定資産税・農機具				30,000	
都市計画税					
不動産取得税					
自動車取得税				15,000	
共同施設税					

損益計算書

全部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
【販売費一般管理費】					
租税 公課					
集落協議会費				7,500	
農業協同組合費				110,000	
肉用牛組合費				90,000	
農事実行組合費				10,000	
家畜共済組合賦課金				125,000	

【5】消費税、【6】借入金（買掛未払金を含む）及び支払利子

調査票 P9

【5】消費税

区 分	金 額 (円)	調査対象畜 負担割合
消 費 税 (納付額)	200000	90%

消費税

※ 消費税は「合計残高試算表」では、表示されません。

「バランスシート」を参照してください。

※ 実際、納付した消費税の額を記入してください。

【6】借入金（買掛未払金を含む）及び支払利子

借 入 金 種 類	調査開始時 未償還残高 (円)	支払利子額 (円)	負担割合 (%)	
			調 査 対象畜	自給牧草
計				
△△資金（畜舎用）	3000000	40000	60	10
××資金（ローダー用）	500000	15000	40	30
〇〇資金（トラクター）	4300000		40	30
買 掛 未 払 金	355000		70	30

借入金

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

前期の合計残高試算表の決算・全部門・貸借対照表と損益計算書を参照します。

なお、借入金の内訳に関しては、集計されません。資産表もしくは元帳を参照してください。

合計残高試算表

貸借対照表

全部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《負債の部》					
【固定負債】					
長期借入金				7,800,000	
△△資金（畜舎用）				3,000,000	
××資金（ローダー用）				500,000	
〇〇資金（トラクター）				4,300,000	
【流動負債】					
買 掛 金				355,000	

借入金（支払利子）

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

今期の合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。

この事例では、利子割引料の補助科目として「△△資金（畜舎用）」、「××資金（ローダー用）」等を設定しています。

損益計算書

全部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
【営業外費用】					
利子割引料				55,000	
借入金利子					
△△資金（畜舎用）				40,000	
××資金（ローダー用）				15,000	
〇〇資金（トラクター）					

【7】出荷に要した経費

調査票 P9

【7】 出荷に要した経費

区 分	金額、時間	出荷に要した経費の例示
材 料（円）	50000	出荷に使用したガソリン代、資材（手綱、鼻木等）の購入代金 等
料 金（円）		出荷作業を依頼した場合の料金、共同出荷における運搬費の負担金 等
労働時間（時間）	20	調査対象畜を販売する際の家畜市場等の販売先までの運搬に要した時間

出荷費用

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。

合計残高試算表

損益計算書

全部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比（%）
〔経常損益の部〕					
〔生産原価〕					
荷造運賃手数料				50,000	
材料費				50,000	
料金					
労働賃（出荷に要する）					

【8】建物及び構築物（土地改良施設を含む）の所有状況

調査票 P10

【8】建物及び構築物（土地改良施設を含む）の所有状況

番号	名称等	種類 コード	構造 コード	延べ面積 (㎡) 又は 施設数 (基)	新 古 区分	耐用 年数 (年)	取得年月		取 得 価 額 (円) 〔購入金額から補助金分を控除し た額を記入してください。〕	農 業 経 営 基 盤 強 化 準 備 金 (円) 〔建物等の取得のために取 り崩した準備金の額を記入 してください。〕	修 繕 費 (円) 〔当年の当該建物等の修繕費 を記入してください。〕	保 険 料 (円) 〔当年の当該建物等の災 害保険料を記入してくだ さい。〕	負担割合(%)		異 動 コ ー ド	年内異動状況	
							年 (西暦)	月					調 査 対 象 畜	自 給 牧 草		異動に伴う発生金額 (円) 〔売却金額、取り壊しの金額〕	
1	畜舎	6	5	400	○	31	1965	9	6500000			20000	100		1	5000000	
2	たい肥舎	9	4	100	○	34	1997	5	3000000				100		2	1500000	
3	作業場	4	1	200	○	15	2008	7	2600000				100		3	2000000	
4	サイロ	2	3	1	○	10	2013	3	8000000	5000000	3000000			100			
15	畜舎（新築）	6	5	800	○		2019	6	25000000				100				

建物等の取得年月、取得価額、売却金額（自動車、農業機械も同様）

ダイレクトメニューで【資産台帳】⇒【減価償却資産集計表】と進みます。
各資産名の取得年月日と取得価格を参照します。

コード 事業区分 資産区分	減価償却資産集計表						普通償却額		売却価額	
	資産名称						普通償却額		売却価額	
	摘要						割増特別償却額		売却損益	
	取得年月日	償却方法	耐用年数	償却率	期間	差引取得	当期償却費計	期首帳簿価額	期末帳簿価額	
1 農業 建物	畜舎	事業専用	数量	残存 1	残存 2	償却基礎金額	償却費累計	期首帳簿価額	期末帳簿価額	
	1965/9					6,500,000				
2 農業 建物	たい肥舎					300,000				
	1997/5									
3 農業 建物	作業場					2,600,000			200,000	
	2008/7									
4 農業 機械装置	サイロ					800,000				
	2013/3									

修繕費・保険料

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。
この事例では、修繕費の補助科目として「建物修繕費」「建物解体費」を設定しています。
ここでは、共通部門で入力したので、全部門を選択していますが、わかりやすいよう
全て肉牛で負担したと見なしています。

損益計算書		全部門				
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比（％）	
【経常損益の部】						
【生産原価】						
修繕費						
建物修繕費				50,000		
【販売費一般管理費】						
損害保険料				20,000		
建物保険料						

農業経営基盤強化準備金の取り崩しについて

「農業簿記」の合計残高試算表では表示できません。
去勢若齢肥育牛生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【9】自動車（自動二輪・三輪を含む）の所有状況

取得年月、取得価格、売却金額

調査票 P11

本マニュアルP26と同様、「減価償却資産集計表」を参照して転記してください。

【9】自動車（自動二輪・三輪を含む）の所有状況

番号	名称等	種類 コード	型式 区分	新中古 品古	耐用 年数 (年)	取得年月		取得価額 (円) 購入金額から補助金を 控除した額を記入してくだ さい。	修繕費 (円) 当年の当該自動車等の 修繕費を記入してくださ い。	自動車保険料 (円) 当年の当該自動車 等の保険料を記入し てください。	自動車・ 軽自動車税 (円) 当年の当該自動車 等の自動車税又は軽 自動車税を記入し てください。	当年、車検を受けた自動車等 について記入してください。		負担割合 (%)		年内異動状況	
						年 (西暦)	月					自動車重量税 (円)	自賠責保険 (円)	調査 対象畜	自給 牧草	異動 コード	売却金額 (円) 廃棄（無償譲渡を含む。）した 場合は、10（ゼロ）
売却の例	1 軽トラック	11	〇	〇	4	2014	2	560000			4000			20	80	1	50000
	2 貨物ダンプ	12	〇	〇	2	2009	8	700000			8000	3300	23970		100	2	0
	3 貨物トラック	13	〇	〇	5	2016	1	1300000	124000	10000	16000	16400	28720		100		
	15 軽トラック	11	〇	〇	3	2019	4	300000				6600	25880	20	80		

修繕費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・肉牛部門・損益計算書を参照します。
建物の修繕費と同じですが、合算されているので、元帳で内訳を確認します。

損益計算書 肉牛部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
【生産原価】					
修繕費				174,000	
建物修繕費				30,000	
農具修繕費				20,000	
車修繕費				124,000	
建物解体費					

自動車保険料、自動車・軽自動車税、自動車重量税、自賠責保険

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。
この事例では、租税公課や損害保険料の補助科目として「自動車保険料」「自動車税」等を設定
しています。ここでは、各項目毎に合算されているので、元帳で更に内訳を確認します。

損益計算書 全部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
【販売費一般管理費】					
租税公課					
固定資産税・建物				140,000	
軽・自動車税				28,000	
自動車重量税				26,300	
自賠責保険				78,570	
損害保険料					
自動車保険料（車両分）				10,000	

【10】農業機械（生産管理機器を含む）の所有状況

調査票 P12

【10】農業機械（生産管理機器を含む）の所有状況

農業経営基盤強化準備金の取り崩しについて

「農業簿記」の合計残高試算表では表示できません。
去勢若齢肥育牛生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照して記入願います。

番号	名称等	種類 コード	型式 コード	新古 区分	耐用 年数 (年)	取得年月		取得価額 (円)	農業経営基盤 強化準備金 (円)	修繕費 (円)	保険料 (円)	軽自動車税 (円)	負担割合(%)		年内異動状況	
						年 (西暦)	月						調査 対象畜	自給 牧草	異動 コード	売却金額 (円)
1	農用トラクター	56	○	○	5	2005	3	800000			8000	2400	100	1		300000
2	集草機	366	○	○	5	2011	2	300000					100	2		0
3	自動給餌器	486	○	○	7	2016	7	600000	300000	20000			100			
14	農用トラクター	56	○	○		2019	2	1500000								
15	ローダー（リース）	496	○	○									100			

売却の例

廃棄等の例

購入の例

リースの例

農業機械等の取得年月、取得価格、売却金額

ダイレクトメニューで【資産台帳】⇒【減価償却資産集計表】と進みます。
各資産名の取得年月日と取得価格を参照します。

減価償却資産集計表												
コード 事業区分 資産区分	資産名称					取得価格	普通償却額	売却価額				
	摘要					交付金等	割増特別償却額	売却損益				
	取得年月日	償却方法	耐用年数	償却率	期間	差引取得	当期償却費計	期首帳簿価額				
	売却除去日	事業専用	数量	残存 1	残存 2	償却基礎金額	償却費累計	期末帳簿価額				
1 農 業 機械装置	農用トラクター					800,000		30,000				
	2005/3							0				
2 農 業 機械装置	集草機					300,000						
	2011/2											
3 農 業 機械装置	自動給餌器					600,000						
	2016/7											

修繕費

ダイレクトメニューで
【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】
と進みます。合計残高試算表の決算・**全部門**
・損益計算書を参照します。

損益計算書		全部門			
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比(%)
【経常損益の部】					
【生産原価】					
修繕費					
農具修繕費				20,000	
【販売費一般管理費】					
損害保険料				8,000	
農業機械保険料				8,000	
租税公課					
軽・自動車税（トラクター）				2,400	

軽自動車税

租税公課の補助科目として設定した、
軽・自動車税を参照します。
ただし、合算されている場合は、元帳に
遡って詳細を確認します。

【11】農具の購入費等

調査票 P13

【11】農具の購入費等

・農具・農業被服等の購入費

名 称 等	金 額 (円)	負担割合 (%)		内 容 例 示
		調 査 対 象 畜	自給 牧草	
(計)	30500	90	10	
農具・農業被服等の購入費				【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、スコップ類、ホース、じょうろ、草かき、飼料桶等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

・生産管理関係の費用

名 称 等	金 額 (円)	負担割合 (%)		内 容 例 示
		調 査 対 象 畜	自給 牧草	
(計)	3000	20		
生産管理関係の費用				【購入費】 ・コピー用紙、プリンター用紙等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用品、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料

農具・農業被服等の購入費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・**全部門**・損益計算書を参照します。

農業簿記では、「農具費」と「作業用衣料費」の勘定科目がありますので、そのまま利用します。

損益計算書

全部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
【生産原価】					
農具費				23,500	
作業用衣料費				7,000	

生産管理関係の費用

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・**全部門**・損益計算書を参照します。

農業簿記では、「研修費」、「事務消耗品費」及び「通信費」等の勘定科目がありますので、そのまま利用します。

損益計算書

全部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
【販売費一般管理費】					
旅費交通費					
研修費				3,000	
接待交際費					
事務消耗品費				4,000	
通信費				24,000	
新聞図書費					

【12】作業別労働時間

調査票 P14

1 調査対象畜に関する定型作業

氏名	性別	年齢	家族・雇用	飼料の調製・給与・給水	敷料搬入・きゅう肥搬出	その他の飼育作業
農林 太郎	男	56	雇用	20 30	10 60	10 120
花子	女	54	雇用	20 300		30 60
一郎	男	28	雇用	20 30	20 100	
雇用者 (常雇い)	男		雇用	20 240	10 100	30 60
雇用者 (ヘルパー2名)	男		雇用	20 15		
雇用者 (ゆい)	男		雇用	30 5	10 5	10 5

労働時間

「農業簿記」では対応しておりません。元帳に数量を入力する事は可能ですが、計算はされません。肉牛生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

2 調査対象畜に関する1以外の作業

氏名	性別	年齢	家族・雇用	作業名 (牧草生産)	作業名 (集会出席)	作業名 (建物修繕)	作業名 (簿記記録)	作業名 (資材購入)
農林 太郎	男		雇用	120	10	15		
花子	女		雇用				30	
二郎	男	25	雇用	120	5	8		10
雇用者(年雇)	男		雇用	60				20

支払賃金

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。
この事例では、雇人費の補助科目として、「男雇用」、「女雇用」を設定します。

損益計算書

全部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比(%)
[経常損益の部]					
【生産原価】					
雇人費				2,800,000	
男雇用				2,500,000	
女雇用				300,000	

3 支払賃金

区分	金額(円)	負担割合(%)	
		調査対象畜	自給牧草
男	2500000	90	10
女	3000000	100	

【13】地代（所有地及び借入地）

調査票 P14

1 所有地

ほ 場 名	ほ場の例示	実面積		負担割合 (%)	
				調査対象畜	自給牧草
建 物 敷 地	畜舎、納屋、飼料倉庫などの建物及び構築物の敷地	60	50	20	
運 動 場	パドック、けい牧（柵のないところに牛を網でつないで飼うこと。）に利用した土地	150	70		
牧 草 栽 培	牧草地及び飼料作物を栽培した耕地	1180		100	
放 牧 地	耕地以外で調査対象畜の放牧に利用した土地	500	100		
採 草 地	耕地以外で過去1年間に調査対象畜用の野草を採草した土地				

2 借入地

ほ 場 名	実面積	支払地代（円）		負担割合 (%)	
				調査対象畜	自給牧草
建 物 敷 地					
運 動 場					
牧 草 栽 培	400	1500000		100	
放 牧 地					
採 草 地					

数量の入力（実面積等）

「農業簿記」では対応しておりません。

元帳に数量（面積や重さ）を入力する事は可能ですが、計算はされません。

去勢若齢肥育牛生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

支払地代

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・肉牛部門・損益計算書を参照します。

この事例では、支払地代の補助科目として、「牧草栽培」「採草地」等を設定しています。

損益計算書

肉牛部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
〔経常損益の部〕					
〔生産原価〕					
支払 地代				150,000	
牧草栽培				150,000	
採草地					

去勢若齡肥育牛生産費統計調査票 記入マニュアル（ソリマチ版）

監 修：ソリマチ株式会社

発 行：農林水産省大臣官房統計部経営・構造統計課

住 所：〒100-8950 東京都千代田区霞が関1丁目2番1号

TEL：03（3502）5654

制作委託：株式会社エージェント